

## 本庁舎の建て替えに関する市民・仙台市議会調査特別委員会からのご意見

## 1. 市民からのご意見について

平成29年4月に本庁舎の建て替えに関するホームページを開設した。常時、市民からのご意見を募集しており、これまでに様々なご意見をいただいている。また、平成29年11月5日に市主催の「市民まちづくりフォーラム」※（下記参照）にて、本庁舎の建て替えに関する市民ワークショップを行い、出席者より様々なご意見をいただいた。

11月16日までに寄せられたご意見の要旨は下記のとおり。

## (1) コンセプトに関することについて

- 市民が訪れやすい、誇りを持てる空間にして欲しい。
- 案内や誘導を充実させてほしい。
- 入ると緑が広がる庁舎が良い。
- ランニングコストのことも考えるべき。
- 解放感や高揚感等を得られる庁舎が良い。
- コストのこともあるが、しっかりしたものを建てるべき。
- 長く使うことで市民のシンボルとなって欲しい。
- ICT技術を活用して職員の働き方も変えるべき。
- 障害者目線での整備も考えてほしい。
- 門番がいる感じで本庁舎は入りにくい。
- マルシェのような賑わいが欲しい。

## (2) 立地に関することについて

- 現地建て替えに賛同する。
- 現本庁舎敷地を売却し、追廻地区に移転する。
- 空いているという理由で公園に庁舎を建てるべきではない。
- 伊達政宗城の跡地に建てるのはどうか。
- 市民広場や勾当台公園への整備は市民に理解されない。
- 三居沢に建てて水力発電の電気を使う。
- 住環境の面から公園を維持すべき。
- 広瀬川の近くに建てるのはどうか。

## (3) 事業手法に関することについて

- 他施設と複合化せずシンプルに庁舎単独で建てるべき。
- マンションと複合化して建築費の削減を。
- 仙台にはホテルが足りないので庁舎の上につくったらどうか。
- 音楽ホールとの複合化を。

## (4) 規模・機能に関することについて

- 分庁舎を集約して分散を解消すべき。
- 休日等に使用していない会議室を利用したい。
- カフェ等の気軽に立ち寄れる場所があると良い。
- ホールのような来庁のきっかけとなる場所が欲しい。
- 地域にも開放した保育施設が欲しい。
- 大規模な地下駐車場を整備すべき。
- 小さい子供や障害者の一時預かりサービスが欲しい。
- 区役所や支所で用事は済むので、それ以外の本庁舎の機能や役割を整理して欲しい。
- 障害者の活動を知ってもらう場があると良い。

## (5) 整備方針（建て方等）に関することについて

- 早急に建て替えてほしい。
- エレベータを充実させる。
- 工期短縮と工事費削減が重要。
- 地下鉄と直結して欲しい。
- 高層化して敷地を高度利用すべき。
- 市民広場とデッキでつなげてはどうか。
- 相応の車寄せや駐車場を設けて渋滞をなくす。
- マンホールトイレを整備して欲しい。
- 情報を発信する大型ビジョンがあると良い。

## (6) 議会に関することについて

- オープンで自由な議論となるよう議場も変わるべき。

## (7) その他のご意見について

- 建て替えは都市の個性をつくるきっかけになる。
- 市長室を1階にしてはどうか。
- 分庁舎や駐車場を売却して財源とすべき。
- 建て替えではなく、駅前商業施設の跡地を購入し、改修して使用すべき。
- 北庁舎は職員用駐車場や倉庫にすべき。
- 仙台に住んで長い本庁舎に行ったことがない。
- PFI手法で整備すべき。
- 難しい用語の説明や今後の事業の過程の透明化を。

## 2. 仙台市議会「新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会」からのご意見について

平成29年9月、本庁舎・議会棟の更新に関する取り組みの推進に資することを目的として、仙台市議会に「新たな本庁舎・議会棟の整備調査特別委員会」が設置され、これまでに3回の委員会が開催された。

委員会におけるご意見は下記のとおり。

## (1) コンセプトについて

- 市民が集まれるような庁舎にしてほしい。
- 危機管理、災害対応の中核拠点として十分に機能し得る庁舎に建てかえるべきである。
- ICTやIoTなど、様々な状況にしっかり対応できる施設を整備する必要がある。
- 余裕を持ったスペースで整備し、市民が集える展示スペースや、業務が増加した際に活用してはかがか。
- 木造等を積極的に取り入れ、先端技術を生かして建設してはかがか。
- 現庁舎、新庁舎を何年持たせるかという議論も大切である。
- 頑丈で長もちする建物にしていく必要がある。
- 本市の独自性を持ったコンセプトについて、より具体的な考え方を示していく必要がある。
- 検討視点について、並列ではなく重きを置くべき問題を優先的に議論していくべき。
- 本庁舎は行政事務を行う場所というのみではなく、半径1キロメートル四方のまちづくりということを考えていかなければならない。
- 今後の本市のまちづくりに大きな影響を及ぼす可能性が高いので、まちの魅力づくりにどのようにつなげていくのかというところもしっかり考えるべきではないか。
- 本庁舎が建てかえによって市民にとって魅力的なものになるよう、区役所と市役所の役割分担のあり方や、市役所におけるサービス内容の検討も必要ではないか。
- 今後の人口減少時代を見据え、大区役所制をとっていくのであれば、コンパクトな本庁舎のあり方があってよいのではないか。
- 本庁舎建てかえの意義が市民に理解されるようにしていく必要がある。
- 必要なコストについて明確して検討することが必要である。
- 各局内での連絡体制、連携体制がとれるよう、ワンフロアに局がおさまるようにするべきである。
- お手洗いなど、外部からの人を受け入れるという機能を持たせてもよいのではないか。

## (2) 立地について

- 現庁舎の敷地内に建設することが最適である。
- 現庁舎の耐用年数を考えれば、別の場所を探すのは時間的に厳しいのではないか。
- 現状の市役所の利点として、市民広場と一体となった市役所の活用の仕方も考えていく必要がある。

## (3) 事業手法について

- 他の施設との併設等については、慎重に検討すべきである。
- できれば単体かつシンプルなもので、スペースに余裕のある庁舎を考えていざるを得ない。
- 複合化については、事業費だけでなく、完成した後の利活用、運営面を考えて検討するべきである。
- 分譲マンションとの複合化については、設計上や金銭的な問題など、どのような見解で難しいかということも含めて、しっかりと検討していただきたい。基本的な考え方について市民にオープンにするべきである。
- 単独、別に建てるより事業費が節減できるのであれば、特徴的という意味でも、音楽ホールとの複合化も検討すべきである。
- バスプールを併設してはかがか。
- 防災、国民保護の観点から、シェルター機能を併設してはかがか。
- 保育所などを併設してはかがか。

※市が行う、または実施を検討する代表的な施策についてご意見をいただき、今後の市の施策展開の参考とすることを目的としたワークショップ。平成24年度以降毎年開催されており、本年度で6回目の開催となった。